

### 久賀島でフノリの種まきがおこなわれました

久賀島漁業集落がフノリの収穫量増加を目的として7月8日にフノリの種まきを行いました。

種まきに先立ち集落の皆さんは大雨・大しけの中大変苦労しながら7月1～5日に磯洗いを、7日にはフノリの母藻採取といった作業を行っていました。皆さんの頑張りが天に通じたのか、8日だけは終日薄曇りで波風も穏やかになり、種まきには適した天候となりました。

採取した母藻を1昼夜陰干した後、満ち潮時に種まきができるように15時半位から母藻を海水につけ胞子を放出させました。

通常は胞子が入った海水をジョウロで潮間帯に散布するのですが、散布するために一度陸上へ上がる必要があり、安全性、効率性に問題があります。そこで今回はジョウロを使った方法の他、エンジンポンプを使い船上から散布する方法を試しました。これだと船上から効率的に広範囲に安全に散布することができます。

胞子が水圧に耐えることができるかどうか一抹の不安がありましたが、ポンプ式での成果がみられれば、今後はより広範囲な展開が期待できそうです。

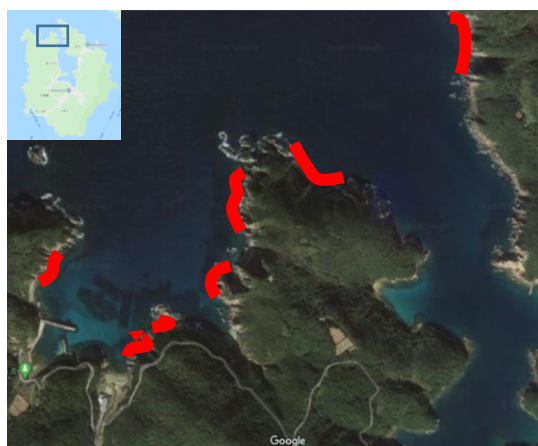


図1 種まきをした場所



図2 参加者



図3 胞子が入った海水



図4 ポンプによる種まき